９／１１（木）の発表

報道発表資料の配付日時 ９月１１日（木）１５:００

発表項目 （行事名）	手足口病警報の発令について
概　　要	北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和７年第３６週（令和７年９月１日～令和７年９月７日）において、帯広保健所管内の定点医療機関あたりの患者報告数が、警報基準以上となりましたので、手足口病警報を発令します。
参　　考	警報レベルとは、大きな流行が発生または継続しつつあることを指します。 直近５週間における定点医療機関あたりの患者報告状況などは、別添資料をご覧ください。
報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク 記者レク
その他	
担　　当 （連絡先）	北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室健康推進課 （担当：健康推進課　角谷）　TEL　０１５５　－　２６　－　９０８２　（直通）

手足口病の流行について（警報）

令和７年９月１１日（木）１５時００分

北海道帯広保健所
（北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室）
TEL 0155-26-9082　FAX 0155-25-0864

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和７年第36週（令和７年９月１日～令和７年９月７日）において、帯広保健所管内の定点あたりの手足口病患者報告数は、警報基準である５人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

今後、帯広保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いします。

記

１　手足口病の感染予防

手足口病の感染予防には手洗いが有効です。特に保育施設など乳幼児が集団生活を行う場所では、集団感染が起こりやすいため、手洗いのほか、排泄物等を適切に処理するよう努めてください。

２　手足口病とは

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、コクサッキーやエンテロウイルスの感染によって起こる感染症です。

子どもを中心に、主に夏に流行します。

ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気ですが、まれに中枢神経系の合併症が出ることがありますので注意をする必要があります。

感染症発生動向調査によると、例年、５歳以下の乳幼児が多く占めています。

３　その他

（１）最近５週における定点医療機関からの手足口病患者報告状況

（表示は「報告数(患者/定点あたり)」単位：人）

	第32週 (8/4～8/10)	第33週 (8/11～8/17)	第34週 (8/18～8/24)	第35週 (8/25～8/31)	第36週 (9/1～9/7)
帯広保健所	2(0.50)	1(0.25)	8(2.00)	18(4.50)	37(9.25)※
全　道	278(2.78)	189(2.17)	211(2.11)	293(2.90)	413(4.05)
全　国	1,367(0.59)	752(0.35)	1,063(0.46)	1,199(0.51)	－（　－　）

※第36週の患者報告数は速報値。

全道の手足口病流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

（URL：https://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html）

（２）手足口病警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、全道の定点医療機関を受診した手足口病患者数が国立感染症研究所において設定した警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを指します。

＜手足口病の警報レベル＞

	開始基準値	終息基準値
定点あたり患者数（人）	5	2